

教員負担減へ採点など委託

調査」は、実施時期を
変更してきた。当初の
から09年度には4月に
り、14年度からは4月

～2022年度		→ 2023年度	
4月	12月	4月	12月
小4 小5 小6 中1 中2 中3	全国学力テスト ○ ○ ○ ○ ○	全国学力テスト ○	全国学力テスト ○

対象になった「県学習
20年度には4月を廃止、
「基幹調査」と位置けて
いた12月に絞った経緯があ
る。

県教育振興課は「1年の
取り組めの成果を見る上で
12月がふさわしいという判
断だった」とするが、学校
ごとに採点をして結果が出
るのが翌年1月中旬下旬。
3学期は学校行事も多く、
回課は「検証や改善に時間
がかかっている」と現
状を説明する。

全国学力テストの正答率
が全国平均を下回り、学力

～2022年度		→ 2023年度	
4月	12月	4月	12月
小4	○	○	
小5	○	○	
小6	○	○	
中1	○	○	
中2	○	○	
中3	○	○	

学力調査、4月実施に 新年度から検証、改善の時間確保

向上が課題になっている。しかも時期変更の背景にある。全国学力テストと同じく、4月に実施するとして、検証と改善のサイクルをこれまで半年から一年に延ばす。小と中3が対象の全国学力テストとの連続性を持たせるため、実施学年を小4・小6、中1・中2の5学年から、小5と中2の2学年に絞り込む。

現場の教員が困っていた作問、採点、データ入力、

分析を民間業者に委託して
負担を軽減する。落合裕一
教育長は記者会見で「個別
最適な学びにならざるを
う、子どもや保護者に結果
をフィードバックしていき
たい」と述べ、情報提供を
強化する考えを示した。業
務委託費は約１７００万
円。

事前対策を含む現場の負
担が重いとして、学習状況
調査を実施しないよう要請
していた県教職員組合は
「試験だけで学力を測るこ
とではまず、そもそも学力
について明確に定義されて
いない。負担が軽減される
点は評価できるが、まだ課
題は多い」と話す。

(江島寛之)